

## 学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 西濃高等特別支援学校 学校運営協議会 (第3回)
- 2 開催日時 令和6年2月1日(木) 13:30~15:30
- 3 開催場所 西濃高等特別支援学校 実習棟3 会議室 (参集による開催)  
開催にあたり、委員による2年生学習成果発表会の参観を実施した
- 4 参加者
- |     |        |                      |
|-----|--------|----------------------|
| 会長  | 堀 富士夫  | 大垣観光協会 副会長           |
| 副会長 | 足立 敬子  | 大垣商工会議所 女性会 会長 (欠席)  |
| 委員  | 伊藤 裕一郎 | 大垣青年会議所 理事長 (欠席)     |
|     | 野崎 重光  | 日新地区センター 館長          |
|     | 山下 美智恵 | 西濃障がい者就業・生活支援センター 所長 |
|     | 大橋 奈麻輝 | 大垣市社会福祉協議会 事務局長      |
|     | 加藤 千恵美 | 大垣市くすのき苑 所長          |
|     | 笹原 優美  | 本校 PTA会長             |
| 学校側 | 樽井 良和  | 校長                   |
|     | 加藤 めぐみ | 事務長                  |
|     | 蒔田 穰   | 教頭                   |
|     | 篠田 裕之  | 部主事                  |
|     | 曾根 良子  | 教務主任                 |

## 5 会議の概要(協議事項)

- (1) 令和5年度 自己評価・学校関係者評価について
- (2) 2年生学習成果発表会 参観
- (3) 専門コース生産品価格について

(新規提案分)

子どもイス	2500円
ラスク(シュガーラスク・アーモンドフロランタン)	100円

上記、適正価格であると承認が得られた

## (4) 意見交換

## 6 委員からの意見

意見1: 成果発表会では堂々と発表していた。周囲に伝える経験を積み重ねていくことはとてもよい。また、次の課題を設定し、やりきる、やり続けることも大切。「ありがとうございます」を自分から言うとコミュニケーションが高まる。

意見2: 生徒には「大きな声で話をする」「遅刻をしない」「仕事は遅くていいとは言わないが正確性の方が求められる」ことを心がけてほしい。

- 意見 3 : 西濃高特の卒業生は就業実習を豊富に積んでおり、会社の即戦力になる。地元で育て、地元で働くということができるとよい。多様な障がい、複雑な家庭環境の生徒であるからこそ、先生だけでなんとかしようと思わず、地元の資源を活用してほしい。
- 意見 4 : 発表会では「働きやすい職場につきたい」「いつまでも幸せに暮らすこと」という生徒の発表があり、地域福祉にかかわる自分に振り返りの機会をもらった。能登半島地震復旧の応援に珠洲市へ行った職員がいる。震災に遭ったときにこの学校で何ができるか、考えるとよい。
- 意見 5 : 発表会、堂々としていた。学生のうちからそのような機会を得ることは大事。来年就職する生徒は真面目で、目標にしている職員として、現場実習を担当した職員の名を即答してくれた。目標をもってきてくれることがうれしく、楽しみである。
- 意見 6 : 「子どもイス」に付加価値を与えるならアートを加えてもよいかもしれない。委員や地域の機関とのつながりを生かし、いろいろな関係を築けると良い。
- 意見 7 : P T A役員として、学校での様々な教育活動がみられて、勉強になった。

## 7 会議のまとめ

第3回学校運営協議会では、生徒・保護者の学校評価アンケートの結果を踏まえて、令和5年度の本校の学校運営にかかる自己評価を行い、報告とともに質疑応答を行い、委員それぞれの視点から意見を得た。また、専門コースの生産物の価格については、参加した全委員より承認が得られた。

議事のほか、2年生学習成果発表会の参観により、委員の発表会感想や生徒たちへの期待を直接生徒に述べられ、生徒にとって外部有識者からの貴重な評価を得られる機会となった。

今年度進められてきた、本校教員による研究推進委員会の研究実績を踏まえ、生徒の一般就労を目指し、各教科や専門コースでの学習や現場実習等のカリキュラムを整理するとともに、学校運営協議会委員の意見を踏まえ、地域に生きる生徒たちが確かな職業観や就労観を身に付け、自立するために、学校において身に付けるべき基本的事項の習得を図っていく。

今年度の本会への参加・協力に対して各委員への謝意を伝え、引き続き、地域との連携や各種機関の協力を得るため、各委員の助力をいただくことを求め散会した。